昭和27年（1952）10月12日（日曜日）　第655号

# 磐城日日

昭和26年7月13日　郵便物認可　第二種郵便物認可　昭和25年10月6日
逓信省令第684号　日刊（除日曜）　【1】

社屋　磐城日日新聞社　磐城市小名浜町字西通51番
発行所　磐城日日新聞社　磐城市小名浜字西通51番
電話　小名浜代表387番　仙台31,355番
振替口座　福島一八〇〇番
編集発行人　長瀬芳郎

## 教委にはどんな町議を

## 嚴正中立の學識者

### 水素勞組　杉山美佐雄氏

先ず最初に云うことは保守勢力の強い小名浜に於て如何なる人物が町議会より送られるか？そしてその人が新しい時代に適應した施策を如何に実現すべく努力するかと云うことを充分に監視する必要があると云うことである

一、ボス勢力の利害に影響されることは絶對に許さない

二、或程度の學識者であること。無知な人間が教育委員になつても意味がない。その外細い点多々あろうが、余り外部から壓迫を加えて自主性を失わしむるようになつても思いので、以上簡單ながら私の要望としておく

三、嚴正中立を守り眞に子弟の爲を考える人であること　親は子のために

教に教育は日に日に新たなる時代の流れに沿うものでなければならない。温故知新とはいうものの日本人の通弊として故きを温めて許り居るようだ稀に新しきを知ると無批判に之に飛び付きその形ばかりを眞似たがる。それはそれとして私が町議会よりの教育委員に望むことは次の通りである

一、教育は政治の外にあること

二、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

三、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

四、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

五、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

六、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

七、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

八、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

九、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

十、教育は教育者自身の自主的責任において行われること

## 高級車なら　富士自轉車を

## 農村生活と神社宗教

### 錦町農青連　根本太一

宗教とは何か一言でいえば生きる工夫でありましょう、だから宗教的信念に立脚した生活は根強く堅実であります。宗教的信念とは日々の生活の上に眞人間としての心の叫びの現れでありましょうそれを神と呼び佛と云い、まことこれを措して天と呼ぶ、何れの代表者である神社總代は期待した程積極性がなく實に残念でした

然し考えようでは輿論は各家庭の要望であり、理想であつて現実ではないだから青年も理想を直に實現化せんとする所に無理があつたとも思う、然し町民各位が切實に斯く行いたいとするならば一人神主や總代の神社でない限り、町民は今こそ瞰起すべき時であり躍進する好機でありましょうそして宗教的觀念を一層高めしめ　絶対に残る迷信盲信を打破し、木物金物のみ禮拜せず日々の生活の上に生きた宗教をみいだして、人間性から神性に向つて間斷なく進歩發展する人類進化の方向に生きてこそ、苦しみも悲しみをも踏み越えた感謝と法悦の豊かな宗教生活が展けて行くと思います、感謝を申しますと、とかく恩を受けたから、與えられたからによつて考えられますが、功利的な打算に陥つて感謝の心を取扱うとするなそれは実に寂しいことであります、自分が今受けて居る幸福を眞に感じ得ない不幸な人であり神を知らない寂しい生活でありましょう

生とし生きるものすべてが神によつて照護せられ大なる愛の恵みの光の前に跪づく感謝の心を以て進めて感謝の生活に報いんとする情熱こそ一報恩の行となつて深められるとき宗教信仰に根ざした力でよき生活の営みが展かれるでありましょう疲れたる魂は感謝の床に憩い、悩み多き人生は帰恩の心によつて更生し、一切を照護し給う救の光明を信ずる者によつての み家庭の幸福も社会の福利も進展されて行くと思う、故に神社宗教を一歩高めて現今の日本思想を指導し、悩める者、苦しめるもの、悲しみ多き者の態の場所として新しい日本的宗教を樹立し町民思想教育の基幹となる日の近からんことを祈るものであります

## 作業給與基準を決する

## 水素勞組の委員会

日本水素小名浜工場労働組合では去る九日中央委員会に於て諸要求の決議直ちに会社に提示したことは既報の通りであるが特殊作業手当増額について作業基準と給與を決定するために十三日午後一時より全組合事務所に於て生産給与對策合同委員会を開き協議することになつた

## 縣化学協議會開く（郡山）

東北興業、呉羽化学工場鐵興社小野新町工場、保土ヶ谷化学郡山工場、昭和電工鹿田工場、日本水素小名浜工場の労働組合から成る縣化学協議会は十二日午前十時より保土ヶ谷化学郡山工場労組事務所に於て共同斗爭の態勢を樹立するために開かれる

なお保土ヶ谷郡山工場労組では首切徹回斗爭突入の態勢にあり全協議會の動向が注目されている。日本水素小名浜工場労組では坂倉書記長、矢田執行委員が出席する

## 北洋漁業の總會（東京）

日本水産業界の永年渇望した北洋漁業に出漁予想を遥かに突破する好成績を擧げて獨立後に於ける日本水産業界の方向に一大金字塔を樹立した北洋漁業協同組合では来る十五日午前十時より東京丸ビル會議室に於て總会を開き次の議案について協議する

一、本年度精算及来年度事業計画について

## 火藥取扱者の國家試験

石城郡の火藥取扱者國家試験は十五、十六の兩日平市堂の前石城郡農業会館に於いて行われる

## 勞働金庫の貸出を協議

日本水素小名浜工場労働組合厚生委員會では十一日午後一時より全組合事務所に委員会を開き去る六日全組合共済委員会に於て勞働金庫貸出につ いての抽選の結果四月分の貸出し者を決定したがこれについての細部なども協議した

## 勿来の水道を視察

植田町議会議員一行二十一名は来る十六日勿来町水道を視察する

## 天氣豫報 12

【本日】北西の風一時やゝ強く曇り時雨れる所もありますが午後からは晴れましょう

【海上】十一日夜半から十二日にかけて突風の恐れがありますから漁船は御注意下さい、なお十一日午前十一時海上に對し強風特報が出されました

## 魚菜市況 11

【小名浜中央青果市場】

卵一〇、二〇〇　三丸大根一五〇〜二八〇　葱二〇〇〜三五〇　人蔘一〇〇〜七〇〇　ごま九五〇〜一〇〇　生姜七〇〜八〇　ほうれん草（一束）一〇〜一七、大根五〇〜四一　柿四二〇〜七〇　梨五〇〜八　九甘藷三〇〜四〇　馬鈴薯四〇〜四五　胡瓜五〇〜一四〇　りんご一一五〜一三〇　茄子一〇〜二五　里芋五〇〜六〇　へちま一〇〜三一　栗九五〇〜一一五　なた豆四〇〜五〇　白菜三〇〜八〇

【小名浜魚市場】

さんま七〇〜一〇〇

新鋭機百數十台取付
●ル●◆ビックリする程良く入る
●ホ●◆只今評判の『皆人家』へ
●コ●◆スルリ興味共に百パーセント
●ン●　文化人の健全娯樂
●チ●パ●◆常に良心的で大当り
植田町金畑（駅前通り）
みなと　パチンコ遊技場
電話（植田）一七番
●大当り連日——大好評
植田町　唯一の

荷入地服冬・秋
純毛服地專門店
良い生地で良い仕立、そして出来るだけ安く
これが當店のモットーです
皆様のチケットを御利用下さい
大井洋服店
小名濱町本町通り

最新流行の履物類
在庫品の豊富なこと！
價の安いことは！
お客本位の
西町の　ヨドヤ履物店

輸送網の大飛躍!!
磐城貨物が万物結實の秋に放つ
輸送陣強化とスピードアップを
御利用下さい
今般磐城貨物は從來のトラック二輪五台を増設して皆様の日頃の要望にお答え申しトラック輸送不能による小口輸送面の隘路を打開致し手際で早い輸送網で大奉仕的輸送陣を圖ることゝなりました
磐城貨物自動車株式会社
小名浜才一營業所　電話一九四番

求下宿人
美麗三室・諸設備完備
委細面談
小名浜町諏訪神社石鳥居前
高木ソノ

新案特許　東和カマド
純珪藻土製品の最高峰
驚く程燃料のいらない
火力強大！
保溫絶大！
時間經濟！
簡便重寶！
最寄販賣店にあります
品切の節は當店へ
◇新專用煙筒付新入荷
浜三郡代理店
榮屋商店
小名濱町古港　電話三番

粋を凝らした大廣間!!
御宴會に!!御商談に!!亦催し物の發表會に!!
替さま方の一夜の宿に、憩の宿りとして是非共御愛用を御願い申上げます
關東大館別館
旅館割烹　若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◉御座敷女中募集（若干名）

第655號　（日曜日）　昭和27年(1952)10月12日　日日日城磐　運輸省特別認承扱第684号（第三種郵便物認可）　新聞定價一ヶ月60円・一部賣3円【月曜休刊】　【2】

# 平消防署の記念行事

## 防火思想の普及に重点

### 今日より全國火災豫防週間

本十二日より全國的に行われる防火週間に際して平消防署では次のような記念行事を行い防火思想を普及する

▽十二日＝一丁目の火の見櫓に防火宣傳の懸垂幕をかかげるほか立看板、ポスターをたてる

▽十三日＝午前九時より學童の防火宣傳を行い午後第七分団でカマド檢査を行う

▽十四日＝午前中火防組で全市のカマド檢査を行い午前十時第一小学校、午後一時第四小學校に於いて避難訓練と防火講演を行う

▽十五日＝自衛消防隊の指導、午前九時第一中学校、午後十二時半より第二中学校に於いて避難訓練及び防火講演

▽十六日＝午前九時より第六小学校、午前十一時より第五小學校、午後二時第三中學校にて避難訓練

▽十七日＝午前九時第三小學校にて避難訓練

## 菊多方部の英語研究會

菊多方部小、中學校主催の英語科研究會は來る三十一日午前九時より錦町中学校に於いて開く

講師は縣教育委員会指導主事菅野定次、磐城高等學校長野々山三郎の兩氏

## 磐農高校の運動会

植田町磐城農業高等學校秋季大運動會は本十二日午前八時より行う

## 町体育祭の臨時區長會

小名浜町区長会（会長大田武彦氏）では來る十一月三日の町民体育祭について協議を行うため十一日午後一時より公民館に於いて臨時區長会を開催した

## 平駅ほか水鐵で表彰

平驛、湯本驛、小川郷驛、平鉄道公安室、平客貨車區、平線路分区は去る七月一日より三十一日まで行われた運轉無事故、線路妨害防止、線路盜難防止運動に盡力したため水戸鐵道管理局より八日表彰された

## 若人の意氣揚る

### 小名高秋季運動會

小名浜高校第五回運動会は國体を間近にひかえた十一日午前八時轟々と打つて上げられる花火と共に華々しく開始された、曇天をつき、產土神諏訪神社からマラソン選手団に護られて石井大藏君の手に運ばれた聖火が会場中央に祀られた聖火台に点火されれば折から雲を劃いて差し込む中秋の陽にカッと映えてまことに健兒の意氣燃えるが如く燦々と輝く

会長大竹校長の訓辭「一致団結の努力良く天をつくならば此の意義深き大運動會に見事なる有終の美を飾り得るであろう」と力強くコダマして、全校生徒による應援歌の合唱、吹松の野に響く拍手につづいて演技が開始された

一年D組の「ボールは何處へ」眼かくしと口かくしの兩人に蹴飛ばされるボールはとんでもない所へ飛んで行く、「障害バン喰い」の二年B組、鼻の頭へパンを喰う騒ぎ、三年D組の「二世紀の化物」は誰が考え出したのか赤ん坊が泣き出す仕末全学年男子の「騎馬戰」は小、中学校と異り手に汗握る壯烈さに三千の觀集はかたずをのんで見まもつていた

## 優良吏員の表彰

### 石城町村吏員の体育祭

本十二日四倉中學校に於いて行われる石城郡町村吏員親善体育大会の席上表彰される永年勤續優良吏員は次の諸氏である

四倉町＝佐藤卓司（助役二十年）豊間町＝鈴木肇（書記二十年）永戸箕輪村＝合津久松（書記十六年）夏井村＝木田甚吾（書記十六年）永戸箕輪村＝草野万吉（書記十五年）内郷町＝高木一（書記十二年）永戸箕輪村＝柴崎重信（書記十二年）内郷町＝永山実（書記十年）入遠野村＝折笠健太郎（書記十一年）植田町＝中村靜江（書記補九年書記八年）夏井村＝川名ミネ子（書記八年）

## 職安係員を殴る（好間）

好間村上好間自由勞組野澤忠雄（三〇）は六日午前七時ごろ平職業安定所好間紹介所で失業認定中係員の長谷川清春（一九）さんに対し列外から入つたものを早く認定したと怒り、長谷川さんの顔面を殴り全治一週間の傷を負わせたため十日平地區署に傷害、公務執行妨害容疑として逮捕されたなお平職安では野澤を就勞停止處分にした

## 二十五名を書類送檢

### 小名浜地區署

〃既報〃小名浜町藤二雄外十時ごろ船から轉落して行方不明となつた

## 平駅待合室で財布盜る

赤井村赤井字反町無職三春コウ（二七）さんは九日午前十時四十分ころ平驛待合室に於いて手提籠から現金三百円入りの財布を盜まれた

## 平跨線橋で現金スラる

平市常磐交通KK庶務課長野崎文彦（三一）さんは九日午前七時半ころ平驛構内の跨線橋通行中に現金八千三百圓入り財布をスラれた

## 岩代熱海温泉へ出發

### 福引の幸運者

小名浜町專門店会大賣出しの福引き「岩代熱海御招待」の幸運者三十氏は商工会伊藤主事の付添いで十一日午前十一時出發した、一泊二日の予定で紅葉の湯の街を滿喫して本日夕刻歸着する

## 内郷公民館で洋裁講習

内郷公民館宮第一部落館では明十三日全町宮保育所に於いて洋裁講習会を開く、講師は平市十字洋裁學院長富岡宣子さん

## 經費をかけずに良い品安く

專門店会チケット御利用下さい

御子樣へ御菓子
動物ヨーチエン　百匁60円
ビスケット　百匁50円

厚生さんへ
上質ノート　16枚　5円より
上質大學ノート　15円より
野球帽　55円より110円

御嬢さん奥樣へ
夜具地　反　270円より
白生地ヤール　55円より
化粧品柳屋メヌマ　80円
ジユジユビリオ
花王洗濯石鹸徳用型　10円

御勤の皆樣へ
純毛セーター　850円
ビロード黒婦人靴　590円
男女雨靴　530円より各種
純毛メリヤス　1500円

小名浜第二小學校前
皆樣の店　平マーケット
電話297番


# 第10回平競輪開催

10月　11（土）　12（日）　13（月）　18（土）　19（日）　20（月）

▲毎日午前10時半発走　◀平駅より競輪場迄無料バス運行

せき・ぜんそくに
アスゲン錠
世に珍らしい喘息藥です
サイトウ藥局
小名浜町松の内
電六七八番

港名産　みりん干　調味料に
蜂密　1罐　2850圓
晒水飴　1罐　1900圓
柳内商店へ電654
小名浜町本町

各種印刷の御注文は長瀬
國華堂賣店

内科
小兒科
會田醫院
院長　會田亮
小名浜町横町（電一四八）


## 鮫川上流

### 御前淵の伝説

錦町　蛭田仙吉

鮫川を錦町大倉より井戸澤の方に向つて遡かのぼること約六粁、丁度川部村下小川と松の下の中間鮫川の上流で、昔より人呼んで御前淵と言われている處がある、昔から言い傳えられているとの御前淵の傳説とは、一体どんなことでしようか

人の口から口へと傳わつて來た話ですからくわしい年代は判りませんが、何でも今から四、五百年の昔、この附近は昔に聞えた城下町で、大友十郎、小名千軒と言われ、今の小名浜と同じく繁榮した町があつたと言われるこの町には東の領主樣、西の領主樣と言われる二人の殿樣によつて町の政治が行われていたと言うことです

東の領主樣には近隣に聞えた美しい一人の姫君がありました、この姫君は顔や形ばかりでなく心もまた大變優しい五絃琴の名手でいられました、この姫君はお父樣同志の約束で西の領主樣の若殿と許嫁になつていられました、この若殿樣も姫君に劣らぬ心の優しい、しかも武勇の譽の高い方でいられました、心のねじけた東の領主樣はこの美しい姫君を餌にして、かねて富裕の聞え高い隣國の領地を何とかして手に入れたくて仕方がありません、機會あらばと心ひそかに時節の到來を待つていたのです

その内に隣國の領主樣は不圖した病氣にかゝられて今では今日か明日かと死を待つばかりの重い床にお就きになつていられました、優しい若殿は一日明日をも知れぬ重い病の床で、力と頼む剛勇な若殿は敵の城に人質同樣となつているので、到々城は滅茶々々な混乱に陷つた末西の領主樣は恨みを呑んで死んでしまわれました

一方何食わぬ顔で若殿の接待をしていたずるい東の領主樣の勝誇つた笑みに、始めて敵のひきようなはかりごとに陷つたことを知られた若殿は齒をかみしめて無念がられました、若殿はもとより剛勇な氣質ですから姫君の美しさに心を奪われてオメ〳〵親の仇に屈服してしまうような方ではありません、僅かな手勢を從いて斬つて斬つて斬りまくつて、阿修羅のような仇きで一時は恨み重なる東の領主樣を組み伏してすんでに首を掻き落そうとせられましたが、傍でオロ〳〵と命乞いをしている愛する姫君の顔を見れば、怒りは心頭に燃えていながらも遂にこの心の優しい若殿は東の國の領主樣を放しておやりになりました、そして御自分は無數の疵を負ひながら敵の圍みを切り拔けて城の高樓まで登つて來られました

重病の老いたる父を殘して許嫁に心惹かれて出かけて來た不孝の罪に血の涙をこぼされつゝ、追いすがつて來た姫君をふりもぎつて、無念〳〵と叫びながら到々眼下の河を殿樣）が河に入つたのでそれから御前淵と云うようになりました

そして、それを御覽になると姫君もまた同じく城の高樓から身を躍らせて若殿の後を慕わねてしきつたのです、しかしその身を躍らせる直前に姫君は涙の顔を擧げて屹つとお父樣領主の方に向つて呪いの言葉をお吐きになりました

「お父樣――……お父樣――……人を泣かせていくらでも領地をおふやしなされませ――……けれど姫の一念七度生れ變つても屹度この城にペン〳〵草を生やさずにおきませぬ……」其の後數日にして東の領主樣も姫君たちと同じように城の高樓から鮫川の中に飛び込んでしまいました、それで御前淵